

知的財産シンポジウム in Tokushima 2011 開催

-四国発- 知的財産シンポジウム in Tokushima 2011 を以下のとおり開催しますので、取材にお越しくさるようお願いします。

## (報道概要)

日 時 : 平成 23 年 6 月 4 日 (土) 9 時 30 分 ~ 18 : 00  
平成 23 年 6 月 5 日 (日) 9 時 30 分 ~ 17 : 00  
場 所 : 徳島大学常三島キャンパス 工学部共通講義棟

世界やアジアにおける日本経済力の相対地位が低下していく状況下において日本が経済力から多くの影響力を行使できた時代は終わりを迎えました。世界やアジアに対する 21 世紀の日本の経済戦略では、知的貢献が重要な地位を占めることはほぼ間違いありません。知的財産立国として、日本が持続可能な成長を続けるため、知的財産の創造推進、知的財産の保護強化、人材育成、創造性を育む教育など、様々な取り組みが行われています。そして 21 世紀の日本は地方の時代です。地方の特性を活かした知的財産権、知的財産を踏まえた産学連携、知的財産教育などの取り組みの重要性も増しています。青色発光ダイオード発祥の地、徳島県で、我が国が進むべき今後の知的財産方針を議論する包括的なシンポジウムを開催します。

## ■特別講演、キーノートレクチャー:

特許庁長官 岩井良行氏 世界をリードする知的財産立国「日本」  
弁護士 岩坪哲氏 知財訴訟の歴史と現状  
弁理士 渡部温氏 進歩性を語る

## ■招待講演: 10 件

## ■一般講演: ポスター形式: 51 件

## ■主催: 日本弁理士会、日本弁理士会四国支部、徳島大学

## お問い合わせ先

徳島大学

責任者 副学長 福井 萬壽夫

担当者 大学院リサーチサイエンス研究部 教授 出口 祥啓

電話番号 088-656-7375

メールアドレス ydeguchi@me.tokushima-u.ac.jp